

# 茶・薬用作物等地域特産作物体制強化促進(茶支援関連)

【令和4年度予算概算要求額 1,984 (1,367) 百万円の内数】

## <対策のポイント>

産地の戦略に基づく茶園の新植や改植、有機栽培や輸出向け栽培への転換、人材確保策の検討等による生産体制の強化、新需要開拓等に向けた茶の生産・加工技術の導入、コスト低減に資する生産・加工機械のリース導入等を支援します。

## <事業目標>

- 茶の生産数量目標 (8.6万t [平成30年度] → 9.9万t [令和12年度まで])
- 茶の輸出額の増加 (153億円 [平成30年] → 312億円 [令和7年])

## <事業の内容>

### 1. 全国的な支援体制の整備

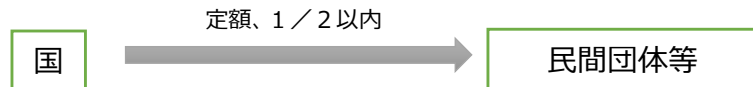
茶の生産性の向上や高品質化等を図るため、全国組織等による機械・技術の改良、日本茶の魅力を発信するなど需要拡大等を行うための取組を支援します。

### 2. 地域における取組の支援

新植や改植、有機栽培や輸出向け栽培等への転換、実証ほの設置等の生産体制の確立、省力化・低コスト化のための農業機械等の改良及びリース導入、産地の気象条件等に応じた生産安定技術の確立、人材確保策の検討、消費者・実需者ニーズの把握、実需者等と連携した商品開発、ポストコロナに対応した茶の需要創出等の取組を支援します。

※生産・流通・消費の関係者が連携し、専門家等を活用したモデル的な産地の取組を含めて総合的に支援

## <事業の流れ>



(関連対策)

- 1 未来型産地形成推進条件整備
- 2 施設園芸等燃油価格高騰対策 (茶セーフティネット)
- 3 インポートトランス申請支援
- 4 茶の適期被覆技術や茶葉の低温保管システムに関する研究 (委託プロジェクト研究)

## <事業イメージ>

### 1. 地域の戦略に基づく茶園の新植及び改植、有機栽培への転換等支援



- ①新植：12万円/10a、②改植、移動改植：15.2万円/10a
- ③改植等に伴う未収益期間の支援：14.1万円/10a (他品種への改植等は18.1万/10a)
- ④棚栽培への転換：4万円/10a、⑤棚栽培転換に必要な資材費：10万円/10a
- ⑥台切り：7万円/10a、⑦有機栽培への転換に伴う資材費：10万円/10a
- ⑧てん茶生産向け直接被覆栽培への転換に必要な資材費：10万円/10a
- ⑨茶園整理：5万円/10a (酸度矯正等を実施する場合は8万円/10a)
- ⑩輸出向け栽培体系への転換：5万円/10a

### 2. 生産体制の強化に向けた取組の支援

・生産・加工の省力化・低コスト化に必要な機械等のリース導入



〔省エネ型粗揉機〕



〔コンテナ型乗用摘採機による効率的摘採〕

### 3. 需要創出に向けた取組の支援

・ポストコロナに対応した新たな茶の需要拡大



〔茶のオンライン販売〕



〔茶の健康機能性の調査・PR〕

【お問い合わせ先】 農産局果樹・茶グループ (03-6744-2117)